

山江村議会だより

まるおか

No.59

(区の宝：第7区)



浄専院智山堂



甘茶釜(花祭り:旧暦四月八日に使用)



智山堂境内の隅にある古塔群



山江保育園前のイボ取り地蔵さん



子どもから高齢者までが集う一丸広場

目次

- 平成27年第5回山江村議会臨時会報告
- 平成27年第6回山江村議会定例会報告
 - ・平成26年度決算の内容
 - ・一般質問
 - ・議会活動報告
 - ・編集後記「だんだんなあ」

平成27年10月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

平成27年第5回山江村議会臨時会、財産処分等を可決!

平成27年第5回7月臨時議会が、31日に開催されました。今回提案されたものは、財産処分1件と平成27年度山江村一般会計補正予算（第2号）1件についての審議を行い、議案は原案どおり可決、決定しました。

尚、財産処分の内容は、蕨野団地内にある村有地及び施設を鷹乃産業(有)へ払下げるものであります。

平成27年度 一般会計補正予算（第2号）

■歳入

【単位：千円】

区分	補正前額	補正額	計	説明
財産収入	4,059	10,732	14,791	土地、建物売払収入
繰入金	164,000	16,000	180,000	庁舎改築基金繰入金
歳入合計	2,867,058	26,732	2,893,790	

■歳出

区分	補正前額	補正額	計	説明
総務費	517,818	17,520	535,338	庁舎屋根防水及び天井等改修工事等
農林水産業費	286,350	312	286,662	修繕費
予備費	23,025	8,900	31,925	予備費
歳出合計	2,867,058	26,732	2,893,790	



役場庁舎ロビー天井の雨漏り跡



払下げ予定の村有地（蕨野工業団地）

平成27年第6回山江村議会定例会

一般会計補正予算を一部修正可決!

温泉ほたる囲炉裏に係る調査特別委員会を設置!

平成27年第6回9月定例議会は、9日から18日までの10日間の会期で開催されました。今回提案されたものは、同意1件、条例4件、認定8件、平成27年度山江村一般会計、特別会計の補正予算7件、要望書1件を審議しました。

9日に開会し、提案理由説明の後議案審議。10日は午後から議案審議、11日は現地調査で村内12箇所を調査。12日から16日は休会で議案審議、17日は一般質問で9名が登壇し、最終日の18日に、提案された全議案について質疑・討論・表決を行ない、平成26年度一般会計決算、特別会計決算について認定。平成27年度山江村一般会計補正予算（第3号）については一部修正可決。改正品確法による「発注関係事務の運用に関する指針」の適正運用の要望書等、他の議案は原案どおり可決、決定しました。また、発議による追加提案された、株式会社やまえ「温泉ほたる」の囲炉裏設置に係る調査特別委員会の決議については、全会一致で可決し閉会しました。

平成26年度 一般会計歳入歳出決算額の内容(款別)

歳入

【単位：円／％】

区 分		平成25年度		平成26年度	
		決算額	対前年度増減率	決算額	対前年度増減率
自主財源	村 税	207,002,320	0.26	206,489,073	△0.25
	分担金及び負担金	27,782,647	△2.20	27,168,510	△2.21
	使用料及び手数料	50,310,420	9.58	51,126,970	1.62
	財産収入	112,781,589	287.11	48,798,751	△56.73
	寄付金	2,102,000	81.05	1,532,000	△27.12
	繰入金	0	△100.00	71,214,040	—
	繰越金	217,582,177	△30.52	292,147,321	9.28
	諸収入	22,757,647	△61.71	49,918,984	34.27
自主財源計		640,318,800	△7.05	748,395,649	16.88
依存財源	地方譲与税	36,353,000	△4.04	34,600,000	△4.82
	利子割交付金	370,000	△0.80	313,000	△15.41
	配当割交付金	361,000	42.69	1,134,000	214.13
	株式等譲渡所得割交付金	73,000	14.06	1,135,000	1454.79
	自動車取得税交付金	6,644,000	△19.99	3,086,000	△355.80
	地方特例交付金	470,000	△25.04	398,000	△15.32
	地方交付税	1,687,140,000	1.84	1,637,133,000	52.06
	交通安全対策特別交付金	794,000	△0.25	704,000	△2.96
	地方消費税交付金	25,187,000	△0.86	32,426,000	28.74
	国庫支出金	293,177,975	△16.50	276,337,899	△5.74
	県支出金	190,652,273	11.61	215,648,117	13.11
	村 債	182,750,000	△36.74	193,600,000	5.93
依存財源計		2,423,972,248	△4.62	2,396,515,016	△1.13
歳入合計		3,064,291,048	△5.14	3,144,910,665	2.63

■歳出

区 分	平成25年度			平成26年度		
	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
議 会 費	56,452,882	2.04	△4.1	59,540,824	2.06	5.5
総 務 費	481,923,753	17.38	5.8	535,981,743	18.56	11.2
民 生 費	614,764,212	22.18	3.4	644,501,662	22.31	4.8
衛 生 費	333,965,132	12.05	△17.0	363,987,491	12.60	9.0
農 林 水 産 業 費	319,973,183	11.54	0.4	334,325,180	11.58	4.5
商 工 費	23,116,133	0.83	△8.6	100,889,165	3.49	336.4
土 木 費	243,151,905	8.77	△50.4	179,586,495	6.22	△26.1
消 防 費	126,860,069	4.58	25.2	98,517,369	3.41	△22.3
教 育 費	159,785,133	5.76	△1.9	181,766,010	5.76	13.8
災 害 復 旧 費	30,399,836	1.10	△66.4	5,985,356	0.21	△80.3
公 債 費	381,751,489	13.77	22.3	383,367,060	13.27	0.4
予 備 費	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0
合 計	2,772,143,727	100.0	△8.0	2,888,448,355	100.0	4.2

■会計別歳入歳出決算額

【単位：円／％】

会 計 名	予算現額	決 算 額		歳入歳出 差 引 額	執 行 率	
		歳入総額	歳出総額		歳 入	歳 出
一 般 会 計	3,202,001,000	3,144,910,665	2,888,448,355	256,462,310	98.2%	90.2%
国民健康保険	529,738,000	530,808,415	517,631,403	13,177,012	100.2%	97.7%
簡 易 水 道	159,290,000	160,602,452	152,175,724	8,426,728	100.8%	95.5%
農業集落排水	154,033,000	156,279,081	148,086,887	8,192,194	101.5%	96.1%
介 護 保 険	421,135,000	421,200,301	403,462,272	17,738,029	100.0%	95.8%
後期高齢者医療	31,454,000	31,527,235	30,454,720	1,072,515	100.2%	96.8%
ケーブルテレビ	43,691,000	44,218,252	35,625,632	8,592,620	101.2%	81.5%
工業用地等	2,204,000	2,202,140	2,202,140	0	99.9%	99.9%
合 計	4,543,546,000	4,491,748,541	4,178,087,133	313,661,408	98.9%	92.0%



山江東部クリーンセンター(汚泥乾燥設備)



村内農林産物生育状況の確認調査(かぼちゃ)

平成27年度 一般会計補正予算（第3号）

歳入

【単位：千円】

区分	補正前額	補正額	計	説明
地方交付税	1,562,500	47,284	1,609,784	普通交付税
国庫支出金	311,153	2,284	313,437	個人番号カード交付事務補助金他
県支出金	181,750	3,282	192,032	地域づくり夢チャレンジ推進費補助金
財産収入	14,791	63	14,854	人吉球磨林業機械センター株主配当金
寄附金	1,500	316	1,816	人吉球磨林業機械センター寄附金
繰入金	180,000	6,590	186,590	介護保険特別会計繰入金
繰越金	80,453	140,257	220,710	繰越金
諸収入	25,399	△360	25,039	太陽光発電システム売電収入
村債	183,400	8,533	191,933	臨時財政対策債他
歳入合計	2,893,790	208,249	3,102,039	

歳出

区分	補正前額	補正額	計	主な内容
議会費	66,286	33	66,319	使用料他
総務費	535,338	162,164	697,502	財政調整基金積立金他
民生費	659,754	2,909	662,663	国県支出金返還金
衛生費	389,191	415	389,606	国県支出金返還金他
農林水産業費	286,622	4,632	291,294	鳥獣被害対策施設整備補助金他
商工費	27,780	9,837	37,617	温泉健康センター積立金他
土木費	220,642	2,918	223,560	支障木伐採委託料他
消防費	104,737	10,660	115,397	防災行政無線デジタル化実施設計委託料他
教育費	212,129	4,058	216,187	小中学校電力自動制御システム購入費他
災害復旧費	4,500	4,953	9,453	機械借上料他
予備費	31,925	5,670	37,595	予備費
歳出合計	2,893,790	208,249	3,102,039	

平成27年度 特別会計補正予算（第1号）

歳出

【単位：千円】

会計名	補正前額	補正額	合計	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
国民健康保険事業	572,500	11,397	583,897	0	0	0	11,397
簡易水道事業	170,000	2,495	172,495	0	0	0	2,495
農業集落排水事業	144,000	3,144	147,144	0	0	0	3,144
介護保険事業	444,000	21,497	465,497	0	0	0	21,497
後期高齢者医療事業	32,500	912	33,412	0	0	0	912
ケーブルテレビ事業	65,000	2,099	67,099	0	0	0	2,099



・台風災害対策について

中竹 耕一郎議員

質問 災害対策本部としてどのような初動体制で望んだのか？その流れ、経緯は？

答弁 逐次入ってくる情報を基に防災行動計画の検討を行い村内3箇所避難所を開設した。防災行政無線、ケーブルテレビで自主避難をよびかけた。夕刻、災害警戒本部を立ち上げた。翌日、万江地区県道崩落情報を得て警戒本部を対策本部に切り替え職員配置を行った。同時に迂回路の確認、各担当課により住民の支援を行った。



山腹崩落により県道塞ぐ（白岳地区）

質問 総務課に危機管理監を配置されているが、防災対策上どのような関わりがあったのか？

答弁 専門的な知識、経験に基づいた意見を聞きながら様々な対策を取った。今後、防災マップを全地区策定する。

質問 土砂崩落により一時的に情報が途切れたと聞くがそのような場合の情報確保はどうするのか？

答弁 防災無線のデジタル化を進める。G空間事業に取組みGISの技術を活用した防災管理システムの構築を行う。

質問 応急的な支援、現段階での被害の状況について？

答弁 村内各地区の道路整備を早急に行い、特に被害が大きい県道崩落現場に集中した。農作物被害についても調査をし、約3000万円程であった。住民健康状態の確認、医療機関と連絡調整し薬の心配を行った。

質問 被害の大きい栗生産農家の生産意欲を維持するためにどのような支援をするのか？

答弁 苗木購入補助、資金融資利子補給等の町村の事例も参考に

最善の支援策を講じていきたい。高齢化に伴い休耕状況にある樹園地へ生産法人の進出などで生産量を増やす手だても考えたい。山村活性化支援交付金事業の採択でフランスへの

輸出メニューも目論んでいる。**意見** 今回の台風災害を教訓として、しっかりと安全確保、生活不安の解消に向けて取組まれることを期待する。



・旧山江農協栗選果場跡地の今後の取り組み計画について
・マイナンバー導入に伴う村の対応について

森田 俊介議員

質問 旧山江農協栗選果場跡地の今後の取り組みについて、J A球磨と山江村の間で売買契約があったと聞いており、利用価値がない状況だと思いが？

答弁 村で施設として利用し、早い段階での生産の有効活用を図ってきたい。

質問 この地方創生を基盤とし、やま栗の自立的な立場から栗選果場の加工機とか導入を認定ブランドにし、村長が言う乾燥農産物の加工販売を民間会社での業務委託にしては？

答弁 今の選果場を利用する事も当然あり、誘致企業も含めて、また企業をつくることも考えたい。

質問 マイナンバー制度について、平成28年1月より番号の利用が開始されると聞いているが、住民の方々に説明、理解が十分にされているの

か？また、雇用保険、医療保険の手続き、生活保護、児童手当、その他福祉の救済、確定申告など税の手続きなど説明が不十分であり、職員に対してどのような指導、理解の徹底をするのか？

答弁 申請書に顔写真を添付して捺印か署名をして申請、来年の1月から国より村の窓口のほうへ送られて来るので、健康福祉課戸籍係で、個人番号カードを受け取っていただく。今後、役場内におきましても説明会、問題等も出てくるんじゃないかと思う。

質問 福祉社会、高齢化の中で障がい者の方も多くおられ、施設入所者の方や認知症の方の手続きは？

答弁 具体的な対策は、今のところ検討をしている段階です。またプライバシーの問題で、国はその情報を取り扱う人に貯金の額や病歴などを

かりはしないか。このマイナンバーを使った新たな犯罪が発生はしないか。村民の方々に不安を与えないような施策を打っていく。

質問 セキュリティ対策はどのようなようにして、誰が責任を負うのか？

答弁 個人情報のセキュリティは、副村長が、最高責任者となっているが、現在はいないため総務課長が情報関係の責任者である。

意見 特に職員には理解をいただきたい。指導をよろしく願いたい。



・(株)やまえ温泉ほたるについて

秋丸 光明 議員

質問 ほたるに囲炉裏を設置した目的は？

答弁 温泉施設の増客を図る目的で、平成20年度の地域活性化・生活対策臨時交付金を活用、翌年度実施している。事業は、温泉ほたる及び物産館を総合的な改築計画のもとに、数年をかけて整備する計画であった。山江村の地域資源を生かして、食材を囲炉裏を活用して部屋を特別室として趣向を凝らし提供して、客単価を上げる目的です。

質問 補助金適正化法とは？

答弁 補助金等に係わる予算の執行の適正化に関する法律、補助金の交付の申請、決定等に関する予算の執行並びに補助金等の交付の決定を適正化を図ることを目的としている。

質問 補助金、交付金を使用した施設を取り外すには財産処分申請を国・県に提出し、許可を受ける必要があるのではないかと？許可を受けて取り外しであったのか？

答弁 関係省庁の長の許可を得ない処分が出来ない。補助金の目的に反して使用、譲渡、交換、貸付、担保してはならない。一時的に取り外したということ、一応理解している。

質問 公共の品物を取り外してから、施設内から持ち出して、ある業者が預かっていることは、どうかと思う？

答弁 施設内、敷地に保管することが適当であると考えています。

質問 取り外し工事は何年か、誰の指示で取り外したのか？

答弁 取り外し時期は平成22年3月22日から3月31日迄、誰の指示でとなると適当な答えが出来ない。

質問 取り外しの金額が発生しているが、最高責任者が外せと推測するが？

答弁 契約上、村側の代表者になると思います。

質問 5年の間に取り外したことは、補助金適正化法にふれると思うが？

答弁 5年間で適用される。

質問 取り外す費用、取り付ける費用、村が全額もつのか？

答弁 村の財産であるから、村で払う。

意見 取り外したり、取り付けたりする費用は、取り外せという方が払うべきではないか。村が被害を被るべきではないと思う。



・自然災害から村民の暮らしを守るための緊急対策について ・村の財政の現状と今後の見通しについて ・総合公園の建設計画について

横谷 巡 議員

質問 災害発生時、停電による孤立不安を解消するための緊急対策として、山間部の避難所に家用発電機を備える考えはないか？

答弁 今年度から地域ごとの防災マップ作成を計画しているが、今回の台風災害等を教訓に地域の避難場所、地域の防災を検討し、避難場所等に必要なのかどうかを検討していきたい。

質問 集落の孤立に伴い、緊急時対策として道路迂回路のマップ作成をしたら「備えあれば憂いなし」になると思うがどうか？

答弁 地域防災計画を策定する上で、災害状況によってどのルートを通り避難するか地域と一緒に考えて作成することで事前行動計画の中に位置付したい。またマップに基づき避難誘導案内板を設置したい。

質問 社会情勢の多様化に伴い、財政需要の上昇が懸念されると思うが現在の財政の現状はどうか？

答弁 大きな変動はないが地方税等の自主財源が少なく脆弱な財政力である。経常収支比率は徐々に高くなってきており、財政の硬直化が進んできている。経常経費の節約に努

め、財政の健全化を図っていききたい。財政指標については、各指標とも健全な財政運営の数値となっている。

質問 国の成長戦略「地方創生」は、人口減少に対するビジョン対策であるが、自治体が策定した総合戦略の事業には、しっかりと財政支援をしていくとのことであったが、トーンダウンしているように思えるが実情はどうか？

答弁 まち・ひと・しごと創生本部から方針は示されているが、具体的なメニュー等ははまだ示されていない。予算額は大枠で一千億円程度と報じられている。半分は地方負担を求めている、50%程度の財政支援のようである。総合戦略に盛り込まれても財源が明確でないということ、財源については少し不安をもっている。

質問 今後の地方交付税の見直しはどうか？

答弁 今後普通交付税は減少していき、自主財源の乏しい本村にとって、厳しい状況が続くものと予想される。事業や補助金等の見直し、事務の効率化、産業振興、企業誘致等により税収の増加を図り、自主財源の確保に努めたい。

質問 総合公園を建設することであるが、何のための総合公園なのか？建設の目的は何か？

答弁 活性化のための地方創生の総

合公園をつくりながら、人の集まる公園をつくりたい。

質問 公園の予定場所はどこか？

答弁 今のところ、どこにどういう施設をどの規模でつくるかというところは考えていない。どういう形の公園が適しているのか、ワークショップというやり方で動いていきたい。

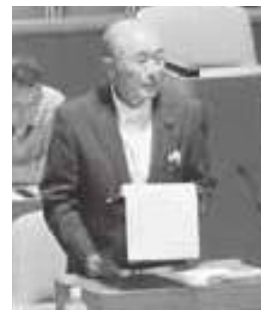
質問 つくば市の総合運動公園建設の賛否を問う住民投票が行われ、「大きな公園は将来に借金を残し、少子高齢化時代に大きな負担になる」と反対票が8割を超えた結果についての所見を伺いたい？

答弁 役場でガイドラインだけ হচ্ছে、どういう形が人を呼べるのかということを中心にしながら有り方を考えていきたい。住民の人たちが中心となつてつくる公園に、住民が住民運動を起こすとは考えていない。

意見 いまどき活性化策としての大きな総合公園の建設はどうかと思う。

当座のことばかり気を取られた発想では後世に残る施設も生まれにくいことも事実です。しかし総合公園の建設は維持管理等に多額の費用を要します。

住民の暮らしの充実というものも大切にしながら、地域が元気になる力と増える社会保障費の財源を確かにするために、持続的可能な財政の運営に努めていくことが肝要ではないかと考える。



・山江村のエネルギー政策について ・民主主義教育について

松本 佳久議員

質問 再生可能エネルギー政策をどのように進めるのか？

答弁 山江村総合エネルギー計画を策定しているので、それに基づき自然エネルギーの活用と省エネの推進を図る。自然エネルギーでは太陽光、風力、水力などを最大限活用し、省エネでは庁舎内や街灯照明のLED化を進める。現在役場の公用車のうち8台がハイブリット車である。

質問 (株)チツソが持つ万江川上流域の水利権の返還要求をする考えはなにか？

答弁 水利権更新の期限は平成39年3月31日であるが、山江村の水利権返還要求方針は変わっていないので、執行部、議会、地域住民で力を合わせて返還に向けてしっかりと準備していききたい。平成13年に万江川水利組合から山江村に寄付して頂いた尾寄崎の自然林72.9ヘクタールは、21世紀水源の森保護条例の制定を検討する。

質問 再生可能エネルギー政策を推進しつつ、原子力発電は早期に中止

すべきではないか？

答弁 福島原発事故は人災であったと認識している。将来的には中止すべきと思うが、直ちに中止することは電気の重要性や電気料金の関係もあり難しいと考えている。

質問 来年の参議院選挙から選挙権が18歳以上に拡大されることになる。小中高校生に対する民主主義教育をどのように進める考えか？

答弁 小中学生の子ども議会や議会傍聴を働きかける。万江小、山田小では、3学期に子ども議会が計画されている。山江中学校では授業時間の調整がうまくできれば次年度にも取り組む予定、高校生については学校も多く難しいが、今後の検討事項としていきたい。

意見 日本国全体で再生可能エネルギーの生産を伸ばし、できるだけ早期に原子力発電から撤退する事が肝要だと考えている。
山江村としてもそのような政策を展開してほしい。



・台風15号について ・林業振興について

谷口 予志之議員

質問 災害に対する今後の対策で、道路の維持管理、また、かぶり木についてどのような対策を考えているか？

答弁 日ごろから点検・整備、側溝等の清掃を含め管理を行い、道路除草作業と同様に、かぶり木による支障木伐採作業も道路の維持管理として取り組んでいく。

質問 農産物の災害関係については、災害共済があると思う。この農産物の災害共済加入の実態はどうなっているか？

答弁 8月末現在で果樹共済に29戸、農作物共済に水稲農家が403戸、麦農家が3戸、園芸施設共済に1戸、家畜共済に33戸加入している。

質問 災害共済に以前は村より補助があったが、いつごろまで、どれぐらいの率で補助をしていたか？

答弁 村単独で平成9年度から15年度ごろまで、果樹共済、施設園芸の共済、家畜共済の掛け金の20から30%程度を補助した経緯がある。

質問 栗は、やまえ栗として、商品価値も高く、やまえ栗を主体として加工販売される事業所もある。被害

に見舞金として助成されることも考えるが、共済掛け金に対する補助制度を始める考えは？

答弁 現行の補助金制度の活用、新しい支援策の検討、最近の社会情勢を鑑み、掛け金及び保険料等の補助が妥当か最善の支援策を検討したい。

質問 林業補助金について減額されていると聞くが、本年度分、来年度分までについてどうか？

答弁 造林事業補助金は、平成27年度で、補助要望額に対し7割程度の予算が配分され大幅に減少している。県の試算によると、来年度以降も補助要望額の50%から60%程度と厳しい予算配分が予想される。

質問 林業補助金の減額による村内森林の整備に及ぼす影響はどうか？

答弁 国の造林事業の予算は、減額されているが、県の「間伐等森林整備促進対策事業」を実施することで、昨年並みの予算確保に努めている。しかし、補助金が減額されていくと、森林整備の遅れなどが生じ、山林所有者の意欲の減退を懸念している。

質問 昨年10月に森林組合が広域合併をした。村の林業振興、事業の遂行に影響は出ていないか？

答弁 広域合併により資本が増強され事業実施基準が統一されたことにより、採算効率が悪かったことについて森林整備の遅れがないか懸念している。

質問 村の機械を利用しての作業道の補修整備ができないか？また、何か方法は考えられないか？

答弁 村所有機械等による整備は、現在行っていない。現制度を拡充できないか、また良い制度がないか、今後検討していきたい。

質問 林業の振興策の一つとして、素材生産のほかに何か換金作物等を推進するような考えはないか？

答弁 現時点では、林業に関する新たな新規作物の導入は考えていないが、林業経営に関し収益性の高い作物がないか、関係機関等の情報の収集にも努め、支援も含めたところで検討していきたい。

意見 林業を振興する上では、短期で収入が得られる副業的な、作物も必要ということだと思う。村としても稼げる農林業の実現に向けて一杯の努力を期待する。



・災害時の情報確保について ・介護保険に係る財政の状況について ・子どもの安全確保について

西 孝恒議員

質問 台風15号で孤立状態となった地域の防災行政無線戸別受信機の状態について？

答弁 万江日当にある中継基地局への電線が切断され、バッテリーに切り替わったが、24時間程度しか持たないので、復旧まで利用できない状態だった。

質問 孤立状態での防災行政無線局の移動系運用の稼働状況は？

答弁 移動系は、公用車10台可搬用

7台あるが、型も古く利用していない状況、本年度から進めるデジタル化の設計をする上で検討して行きたい。

質問 今回の孤立状態になった地域での携帯電話の運用は、一定のメーカーに限られるが、各メーカー使用可能な対策は？

答弁 携帯電話の不感地帯の解消事業は、村内9カ所の基地局を整備した。この時事業者が一社しか参入なく、その業者の携帯しか入らない状



防災ボランティアの方々による子どもの見守り

況である。業者としても採算性の問題もあるが、今後も通信業者へ協力を求めながら検討して行きたい。

質問 G空間情報を活用した例えば、白岳の土砂災害についての対応は？

答弁 情報の一元管理と共有を図ることが出来るので、消防団、消防署、警察署と連携情報提供が図れる。またケーブルテレビ等に情報を送ることでもリアルタイムに災害の状況を地図上に表示でき、円滑な防災活動に繋がる。

質問 本村の介護保険事業の財政状況、また1000円の保険料上げ幅について？

答弁 平成26年度は、介護給付費と介護予防給付費を合わせ、約3億6900万円、また介護予防事業は

約1400万円を出している。現在1096人の被保険者であるが、年々増加の推計である。保険料の基準額は1000円上がり5900円に決定したが、これは介護保険の基金から2500万円を取り崩し当てている。国保も含め介護保険財政は今後厳しくなると認識している。

質問 介護保険制度改定内容から、今後市町村の強化すべき要点は？

答弁 要支援者に対する通所介護と訪問介護が予防給付費からはずされる。総合事業となり財政的には増々厳しくなる。介護予防が大事と認識する。

質問 2025年を見据えた国保や介護保険事業策定の見通しは？

答弁 介護保険料基準額もかなり上がると思われる。地域密着型介護施設等の整備も視野に入れ検討の必要がある。

質問 子どもの安全確保について？

答弁 危機感をもって対応している。登下校は防犯ボランティアの付添や職員による下校後の見回り、不審者対応の避難訓練も実施している。

質問 携帯電話に関連した事例やいじめ、不登校について？

答弁 村内小中学校の携帯電話所持率は10数%で学校の許可制になっている。また学校への持ち込みは禁止になっている。いじめ防止については、各学校においてマニュアルが策定されている。現在村内のいじめ不登校の報告件数としてはゼロである。



・山江産栗のブランド化について
・味園万江井出の口
バイパス線について

赤坂 修議員

質問 山江産栗のブランド化について？ 村長の施政方針について？

平成26年3月第5次山江村総合振興計画後期基本計画を基本方針とした村政運営について？

答弁 前期後期基本計画もそう変わっていないのでこの基本計画にそって諸々の事業を進めていきたい。しかし、今、地方創生の総合戦略を策定しているので「まち・ひと・しごと」、特に仕事に結びつくような事業について基本計画に基づかない計画も示していきたい。

質問 山江産栗の商標登録、商品化の進捗状況は？

答弁 商標登録については、山江の栗まんじゅう、山江のびつ栗だんごについて商標登録を出願中。柚子、シヨウガ、野菜等の乾燥商品を開発中で、これらをブレンドした商品を開発していきたい。

質問 山江栗を山江で青果として出荷する計画はないか。

答弁 JA球磨で山江栗と球磨栗を別選果してもらい青果としての流通を図りたい。



ブランド化が期待される山江栗

質問 次に万江井出の口バイパス線村道新設改良工事について、4年前の事業であるが中止になった経緯は？

答弁 H21年要望H22年度事業ですがH22年12月関係者説明を行ったが時期が遅くなったということ用地同意の承諾が進まなかった。H23年度工事費の予算措置を行ったが結果的に測量立入同意が得られず県との協議で事業の見通しが立たない限り

一般質問

申請は見送ったほうが良いとの指導があり補助金の申請は行わなかった。

質問 山田と万江を結ぶ道路は長年の悲願でもあり山田と万江の名所を結ぶ観光ルートとして山江村の活性化を促進する起爆剤として防災の面からも必要な道路と考えるが村長はどのように考えておられるのか、また中止になった事業であるが再度推進する考えはないか？

答弁 この事業については構想としては球磨村まで抜ける下球磨の町村間の道路として期待を持ちながらの



- ・丸岡公園の維持管理及び今後の整備等について
- ・定住化促進に向けての宅地造成について
- ・自然災害に対する対策について

立道 徹議員

質問 維持管理及び委託業者、年何回の手入れ及び現在のつつじの剪定期間について？

答弁 維持管理費は、216万円程。内容として公園の除草、剪定及びトイレの清掃費が、136万円委託業者は、山江村シルバー人材センター。トイレ等の電気料、上下水道使用料、消耗品、浄化槽の管理費等が80万円。除草は、6、9、3月の

事業であったが地元地権者の同意が得られなかったという事は、地元が期待された事業でなかったという路として産業面生活面観光面からして必要な道路と考えているが、果たして、この事業を願っている人がどのくらいいるのか私なりに住民の方々に聞いてみたいと思う。

意見 山田と万江を結ぶ主要道路としてまた山田と万江合併後125年の悲願としてバイパス線実現を期待する。

年3回、剪定は、つつじ・桜に分けて、1回。トイレ清掃は、週1回以上今年度のつつじの剪定は、除草に時間がかかり、剪定期間が夏場になるようであったので見送った。

質問 丸岡周辺の道路の維持管理について？

答弁 球磨中央森林組合に委託して、つつじ祭り時期とお盆前の2回除草している。

意見 山江栗の収穫時期までの年3回できないか検討をお願いしたい。

質問 つつじの理想の剪定期間、今後のイベントの開催、整備等について？

答弁 イベントは、続けていき、管理するだけでなく、活用していきたい。剪定期間は、花が終わって1カ月以内、遅くとも7月中には、剪定することがよいと言われています。専門業者に剪定は、お願いしなければ理想の公園は、無理ではないかと考えます。

質問 総合運動公園も検討中とのことなので、丸岡公園を中心にして、広域で考えられるなら、愛知県にある刈谷ハイウェイオアシスを参考とした施設を考えては？

答弁 過去にも検討させて頂いたこととあります。たいへん難しいことであるが、地方創生にも考えられることとありますので、今後、視野に入れていきます。

質問 定住化促進に向けての宅地造成の計画、候補地は？

答弁 現在では、5カ所程、現地調査し検討をしている。

質問 丸岡公園に上る沿線は、農振地になっていると思えますが除外できる土地は？

答弁 村には定住化の方針でできるかも知れないが、県との協議が難しい。

意見 現在、県建設業協会人吉支部において、公共工事で発生する土砂

の捨て場所を探しています。そのような場所があれば、県から建設業協会人吉支部が請け負って、造成して跡地に観光振興・地域につながる活性化を考えています。そのことも考えて頂きたい。村としては、工事費も不要である。

質問 自然災害に対する対策で、山江村の村税減免条例について、

答弁 税災害減免条例、国民健康保険税条例があり、災害で所得減収により軽減措置がある。

質問 今回の台風災害で該当される方は？

答弁 農業所得が該当される。申告時期にならないと状況がわからない。



桜・つつじが咲き誇る丸岡公園

平成28年度山江村主軸事業を上京要望!!

山江村議会は、10月28日地元選出の国会議員、金子恭之代議士、松村祥史参議、馬場成志参議に対し、平成28年度山江村の主軸事業の要望を行いました。内容は、G空間情報を活用した防災システム構築事業や農業・林業振興施策、野生獣類被害対策などの12事業、山江村が抱える諸問題について意見交換をし、日々移り変わる国の動向についても情報収集を行ってきました。



松村参議への要望



金子代議士への要望



馬場参議への要望

災害現場等を 現地調査

8月25日未明に上陸した台風15号による被害が村内で多数発生した。これにより、9月議会定例会会期中の9月11日に災害箇所等の現地調査を行った。また、10日には、球磨畜産共進会へ村内2戸から2頭が出陳されたことで共進会場の球磨家畜市場（錦町）へ激励を行った。



広報委員



白岳地区の土砂崩れ現場



球磨畜産共進会へ激励

だんだんあ

平成27年、本年もあと、残すところ2ヶ月あまり。山々には、紅葉も美しい時期となりました。今年8月の台風15号により、農林業には大変な被害をもたらした。農作物(粟・米)など大きな打撃を受け、大変な年だったと思います。又、鳥獣の被害も多くなり深刻なことを考えています。さて、11月1日から猟解禁になりました。猪、鹿等の野生鳥獣の捕獲に対し猟友会の方々には事故が無いように安全を期待します。

山江村議会も野生鳥獣被害対策には皆様の意見・要望などをお聞きし、住民の目線で頑張っていきたいと思えます。

5月より、広報編集特別委員会も新体制の4名と事務局のメンバーで「まるおか」を発行しており、議会の活動運営を身近にお知らせする役割を果たしていく所存であります。

私たち議員は、住民皆様と議会が一緒になって運営するものと考えています。

定例議会等の時はぜひ議場へ足を運んでいただきたいと思います。

季節柄も寒くなってきました。体調を崩さないよう「がまだし」て下さい。

(文責 森田 俊介)

【議会広報委員】 委員長/立道 徹 副委員長/森田 俊介 委員/西 孝恒・赤坂 修